

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 3 年度病虫害発生予察技術情報第 5 号について

このことについて、病虫害発生予察技術報第 5 号（水稻いもち病）を発表したので送付します。
本年は、一部ほ場でいもち病（葉いもち）の多発が確認されており、今後の気象条件からも発生拡大と穂いもちへの進展が懸念されます。
現地での発生状況の把握に努め、基幹防除の徹底と必要に応じて補正防除の指導をお願いします。

技術情報第 5 号

1 作物名：水稻（普通期）

2 病虫害名：いもち病

3 発生状況

(1) ほ場調査結果

県内 46 の定点ほ場における 8 月 2 半旬調査の結果、葉いもちの平均発病株率は 7.6%（平年 13.9%、前年 14.1%）、発生ほ場率は 39.1%（平年 49.6%、前年 69.6%）で、発病株率・発生ほ場率ともに平年よりやや低かった（図 1）。しかし、調査ほ場間での発生程度に差があり、一部のほ場で多発している。また、孢子形成量の多い進行型病斑の発生ほ場率は 37.0%（平年 22.2%、前年 23.9%）と平年・前年よりも高かった。

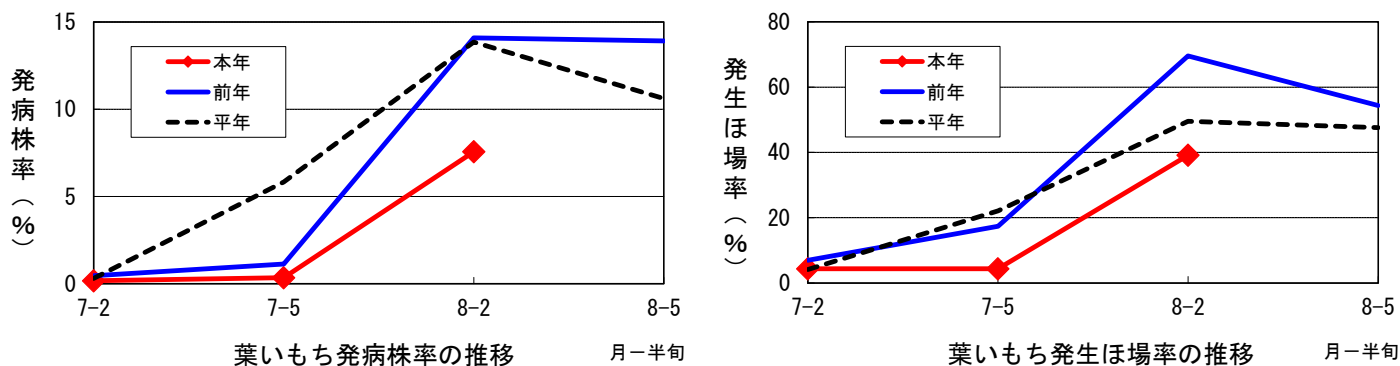


図 1 葉いもちの発病株率と発生ほ場率の推移

(2) 今後の気象予報

福岡管区気象台が令和3年8月5日に発表した1か月予報では、8月7日～9月6日の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ないとなっており、いもち病の発生しやすい気象条件となっている。

4 防除上注意すべき事項

(1) ほ場によって葉いもちの発生状況が異なるため、ほ場を見回り葉いもちの発生状況を確認する。
(2) 葉いもちの発生が多い場合には、降雨の合間を見て薬剤防除を実施し、葉いもちの感染拡大および穂いもちの発生予防に努める。

(3) 農薬の使用に当たっては、必ずラベルに記載された対象病虫害名・使用時期等を確認し、使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守する。

また、ミツバチ・魚介類等の周辺動植物及び環境に影響がないよう、飛散防止対策を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

(4) 使用する農薬については、「令和3年度版病虫害・雑草防除の手引き (<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html>)」を参照する。

(5) 病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「福岡県病虫害防除所ホームページ」 <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/>

